

=====

[北海道]

H30.11.30

°.°*:.°°.°*°.°*:.°°.°*°.°* Andante *°.°*:.°°.°*°.°*:.°°.°*°.°* Vol.113

～北海道の自殺対策について～

Hokkaido
Government

発行:北海道地域自殺対策推進センター
(北海道立精神保健福祉センター内)

=====

※『Andante: アンダンテ』とは

「ゆっくりと歩くくらいの速さで」という意味の音楽用語です。ゆっくりと自分にとって適度なスピードで歩いているとき、私達の視野はいつもよりぐっと広がり、忙しく過ごす中では見過ごしがちなものに気が付くことがあります。北海道地域自殺対策推進センターでは皆さんと共に歩いていけるような「Andante」を配信していきたいと考えています。

— 目 次 —

【1】北海道における自殺の現状

- ◇ 平成 30 年 10 月末の自殺者数(暫定値)[警察庁]
- ◇ 平成 29 年北海道における方面別自殺者数(確定値)[厚生労働省]

【2】自殺について知ろう

- ◇ 「平成 30 年版過労死等防止対策白書」より過労自殺に関して[厚生労働省]

【3】お知らせ

- ◇ こころの電話相談
- ◇ HP 及び携帯 HP をご覧ください

【4】編集後記

【1】北海道における自殺の現状

警察庁より平成 30 年 10 月末の月別自殺者数の暫定値が発表されました。平成 30 年 10 月の北海道の自殺者数は 89 人でした。また、全国の自殺者数は 1,732 人、そのうち男性は 1,199 人、女性は 533 人でした。以下に、北海道および全国の前月比と前年同月比の自殺者数を示します。

1.平成 30 年 10 月末と平成 30 年 9 月末の月別自殺者数の比較 (単位:人)

	北海道	全国	全国(男性)	全国(女性)
H30年10月	89	1,732	1,199	533
H30年9月	75	1,686	1,146	540
前月比	+14	+46	+53	-7

平成30年10月の自殺者数は、前月比で北海道、全国、全国男性において増加し、全国女性において減少しました。

都道府県別では、自殺者数が増加したのは26、減少したのは17、変化なしは4でした。

2. 平成30年10月末と平成29年10月末の月別自殺者数の比較 (単位:人)

	北海道	全国	全国(男性)	全国(女性)
H30年10月	89	1,732	1,199	533
H29年10月	83	1,642	1,150	492
前年比	+6	+90	+49	+41

前年同月比では、北海道、全国、全国男性、全国女性のすべてにおいて増加しました。

また、都道府県別でみると、自殺者数が増加したのは30、減少したのは16、変化なしは1でした。

◇平成29年北海道における方面別自殺者数(確定値)[厚生労働省]◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

今回は、厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」の平成29年の発見日・発見地の確定値データを、警察署管内の方面別に集計したものをご報告します。なお、「札幌方面」は石狩・胆振・日高全域と深川市・雨竜郡を除く空知および寿都郡・島牧郡を除く後志、「旭川方面」は上川・宗谷・留萌全域と深川市・雨竜郡、「函館方面」は渡島・檜山全域と寿都郡・島牧郡、「釧路方面」は釧路・根室・十勝全域、「北見方面」はオホーツク全域です。

1. 平成29年北海道の方面別男女別自殺者数 (単位:人)

	総数	男性	女性
全道	1,001人(-3)	679人(-35)	322人(+32)
札幌方面	603人(+20)	409人(-4)	194人(+24)
旭川方面	122人(-11)	77人(-23)	45人(+12)
函館方面	99人(+13)	70人(+8)	29人(+5)
釧路方面	114人(-27)	83人(-15)	31人(-12)
北見方面	63人(+2)	40人(-1)	23人(+3)

※()内は前年比(単位:人)

まず全体を見ると、総数では昨年と比較して、3人減少とあまり変化のないように見えますが、男性は35人減少、女性は32人増加しており、男女別での変化は大きかったようです。次に方面別に見ていきます。総数1,001人中、札幌方面の自殺者数が6割を占めますが、地域の広さと人口の多さの影響もあると考えられます。函館方面では、男性女性共に増加、釧路方面では男性女性共に減少しています。各方面で男女別を見ると、男性では函館方面以外の方面では減少、女性では釧路方面以外の方面で増加しています。

2.平成29年北海道の方面別世代別自殺者数 (単位:人)

	青少年	中高年	高齢者	不詳
全道	129人(-5)	457人(-21)	413人(+27)	2人(-4)
札幌方面	92人(±0)	295人(+1)	215人(+21)	1人(-2)
旭川方面	9人(-1)	48人(-18)	64人(+9)	1人(-1)
函館方面	7人(-2)	39人(+15)	53人(+1)	0人(-1)
釧路方面	17人(-4)	53人(-12)	44人(-11)	0人(±0)
北見方面	4人(+2)	22人(-7)	37人(+7)	0人(±0)

※()内は前年比(単位:人)

29歳以下を青少年、30歳代から50歳代を中高年、60歳以上を高齢者と分類し、方面別に世代別の自殺者数を示しました。

全体を見ると、年代別では、高齢者は増加傾向、その他の年代は減少傾向です。特に札幌方面の高齢者が大きく増加しています。

各方面で年代別に見ると、青少年では、北見方面で2人増加、札幌方面では変化なしでしたが、その他の方面では減少しています。中高年では、札幌方面では1人、函館方面では15人増加していますが、その他では減少しています。高齢者では、釧路方面では11人減少していますが、その他の方面では増加しています。

平成28年度で全体的に自殺者数が減少傾向にありました。今年度は男女別では女性、年代別では高齢者の増加が目立ちました。女性、高齢者層への対策が必要と考えられます。

北海道の方面別自殺者数については、北海道地域自殺対策推進センターのHP上に詳しいデータをアップしてありますのでご参照ください。

参考資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

【2】自殺について知ろう

毎年 11 月は「過労死等防止啓発月間」です。前回の Andante 編集後記でもお伝えしましたが、全国でシンポジウム開催や過重労働解消キャンペーン等、過労防止に関するさまざまな取組がなされています。先月末に厚生労働省の HP で、過労死等の概要や、政府が過労死等の防止ために講じた施策の状況がまとめられた「平成 30 年版過労死等防止対策白書」が公表されました。今回の「自殺について知ろう」では、その中に載っている勤務問題に関する自殺について及びメンタルヘルスに関する一部を紹介します。

まず、平成 29 年の勤務問題に関する自殺の状況についてです。

平成 29 年は自殺者数総数が、21,321 人に対して勤務問題を原因・動機の 1 つとするものは 1,991 人でした。自殺者数総数が近年減少傾向にあるのに対して、勤務問題を原因・動機の 1 つとする自殺者の割合は増加傾向にあり、平成 29 年は 9.3%になっています。

原因・動機の詳細別にみると、勤務問題のうち「仕事疲れ」が約 3 割を占め、次いで、「職場の人間関係」が 2 割強、「仕事の失敗」が 2 割弱、「職場環境の変化」が 1 割強となっています。

職業別にみると、「被雇用者・勤め人」が 8 割以上を占め、次いで、「無職者」、「自営業者・家族従業者」となっています。

年齢層別にみると、概ね、「40～49 歳」、「50～59 歳」、「30～39 歳」、「20～29 歳」の順に多く、これらの階層はいずれも、概ね全体の 4 分の 1 から 5 分の 1 を占めています。

次に、メンタルヘルスについてです。

常用労働者 10 人以上を雇用する事業所を対象とした調査において、「仕事や職業生活に関することで、強い不安、悩み、ストレスを感じている労働者の割合」は 59.5%となっており、依然として半数を超えています。そのうち、「仕事や職業生活に関する強い不安、悩み、ストレスを感じる」とした労働者は、「仕事の質・量」が 53.8%と最も多く、次いで、「仕事の失敗、責任の発生等」(38.5%)、「対人関係(セクハラ・パワハラを含む)」(30.5%)となっています。

また、現在の自分の仕事や職業生活でのストレスについて「相談できる人がいる」とした労働者の割合は 91.1%となっており、「相談できる人がいる」とする労働者が挙げた相談相手は、「家族・友人」(84.4%)が最も多く、次いで、「上司・同僚」(76.0%)となっています。また、家族・友人等を除き、職場に事業外資減(事業場外でメンタルヘルス対策の支援を行う機関及び専門家)を含めた相談先がある労働者の割合は 71.2%となっています。続いて、メンタルヘルス対策に取り組んでいる事業場ですが、その割合は 56.6%といまだ 5 割台にとどまっており、規模の小さい事業所ほどその割合が低くなっています。

メンタルヘルスケアに取り組んでいる事業所における取組内容としては、「労働者のストレスの状況などについて調査票を用いて調査(ストレスチェック)」が 62.3%と最も多く、次いで、「メンタルヘルス対策に関する労働者の教育研修・情報提供」(38.2%)、「メンタルヘルスケア対策に関する事業所内での相談体制の整備」(35.5%)となっています。

今回は、「平成 30 年版過労死等防止対策白書」の中から自殺に関連する部分についてのみお伝えしましたが、全体の概要や今後の目標の詳細について厚生労働省の HP に公表されています。また、パンフレット「STOP 過労死」にもわかりやすい説明が載っています。是非ご覧ください。

引用文献

厚生労働省,(2018),「平成 30 年版過労死等防止対策白書」.

【3】お知らせ

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で行っています。

月曜から金曜日 9:00～21:00

土曜日曜祝日(12月29日～1月3日を除く) 10:00～16:00

Tel:0570-064-556

※ご相談の電話が集中しますと、つながりづらい状態になりますがご了承ください。

◇ HP・携帯版 HP をご覧ください

北海道地域自殺対策推進センターの HP を開設しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくお伝えできるよう心がけています。

パソコン HP URL:<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/jisatutaisaku.htm>

また、携帯電話で見ることができる携帯版 HP も開設しています。警察庁および北海道警察から公表された統計資料をもとに、北海道における自殺の状況を掲載しています。こちらも併せてご覧ください。

携帯 HP URL:<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/i/joukyou.htm>

【4】編集後記

今年初雪の観測が例年より遅く、札幌では 128 年前の明治 23 年と並んで最も遅いそうです。初雪は遅れましたが、Andante は毎号遅れずに皆様に配信してきました。今回もなんとか遅れずにお届けすることができ、ほっとしています。なお、来月の Andante ですが、本橋豊さん編著の『Q&A 自殺対策策定ハンドブック』の内容に触れたいと思います。楽しみにお待ちしております。

いつもご愛読ありがとうございます。

次号 Vol.114 は、2018 年 12 月末に配信予定です。

お問い合わせ先

北海道立精神保健福祉センター

札幌市白石区本通 16 丁目北 6 番 34 号

Tel 011-864-7121

Fax 011-864-9546

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/>

Mail hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp